

たばた あずみ
議員

食品放射性物質検査の対象は

子どもの給食と農産物



放射性物質検査機器

問 原発事故の対応について
消費者庁から貸与された食品の放射性物質検査機器での測定が始まる。食の安心を求め質問する。

① 貸与された検査機器の検出限界値と、測定にかかる時間は。
② 測定の対象は。

③ 給食への不安から、昼食の持参を希望する例があるか。また、その対応は。
④ 放射性物質測定済みの安心な野菜を買いたいという人は多い。農業者への応援としても検査機器を増やすことを検討してはどうか。

環境経済部長

① 検出限界は10ベクレルである。機器の起動に70分、検査に30分かかることから、1日5品目程度の測定となる。

② 公立・私立の小・中学校、保育園、幼稚園などの給食食材及び直売所の農産物が対象となっている。

教育部長

③ 弁当の申し出はない。ただし、小学校の給食で牛乳なしの希望届けが10人ほど出ている。

子育て担当部長

③ 公立保育園で2人から要望があった。市としては、事前調整した上で、持参を認める方針である。

環境経済部長

④ 当面は借りている機器で最大限努力をしたい。

他に中学校での武道必修化、小中学校のエアコン設置について質問した。

堀江 武史
議員

放課後子どもプランの現状は

3つの小学校で週1回実施

問 放課後子ども教育推進事業について

放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、平成19年度、国において「放課後子どもプラン」が策定された。これは各区市町村において、

文部科学省の「放課後子ども教育推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業（学童クラブ）」を一体あるいは連携して実施する総合的な放課後対策事業である。これを受け、当市でも「放課後子どもプラン」による子ども教育を実施しているが、現状と課題について伺う。

生涯学習担当部長

現在、地域の教育力を生かした子どもたちの安全、安心の活動の場として草花小学校、多西小学校、東秋留小学校の3つの学校で週1回、水曜日に実施している。実施の際には、運営コーディネーター1人、安全管理員3人のボランティア



放課後子どもプランでのあそび

による「あそび応援団」を配置し、地域の特性に応じたメニューを行っている。より多くの地域や学校で実施していきたいと考え、今後、もう一度意向調査を行い、活動を拡大する働きかけを行う。課題としては、

登録児童の数が増加する中で、スタッフが不足気味であり、メニューの数を増やすことができないことがあげられる。

他に地域防災力の向上について質問した。

奥秋 利郎
議員

小宮小校舎にデイサービスの設置は 介護予防教室等も展開する

問 小宮小学校統合について
小宮小学校では、今まで一人ひとりの子ども達に目が行き届いていた。統合後は、多くの同級生との共同生活の中で切磋琢磨しながら成長していくという教育効果が、更には上がるよう期待するが、以下について伺う。

① スクールバスの運行ルートと運行時間及び乗降場所・待機場所はどのように決定したか。

② 統合後の小宮小学校校舎は自然体験学校として開校すると聞かすが、小宮地区の高齢者率は約40%であるので、高齢者のデイサービスセンターを設置し、生活相談員、看護師が常駐し、給食や入浴、カラオケ、絵画、編物、リハビリと共に健康相談も行ったらいかがか。

教育部長

① 平成23年12月議会での補正予算審議や、近隣の方からの要望及び警察署の指導等を踏まえ決定した。ル

企画政策部長

② 小宮地域の自治会やPTA関係者などで組織する「小宮小学校施設・地域検討会議」において議論を重ね、自然体験学校を開校するとともに、小宮ふれあい交流事業を展開することとした。また、地域の高齢者を中心に、介護予防教室、健康づくりのイベントなどの事業展開をしていく。



小宮小学校閉校式

問 安心できる医療の充実について
① 国保税や高い医療費が払えないなどの理由で、病気になるっても受診を差し控え、病気が悪化してしまう事態が起きている。そこで、安心できる医療の充実を求め以下質問する。

ア・国保税の滞納世帯数と短期保険証の発行数は、所得階層別ではどのようなになっているか。
イ・滞納していたために
①ア・平成23年5月における滞納世帯数は2229



公立阿伎留医療センター

山根 トミ江
議員

国保税の軽減措置は

所得に応じた措置がある

世帯で、そのうち10月の保険証更新時の短期保険証交付対象世帯数は1282世帯である。所得階層は把握していない。

イ・救済措置として、低所得世帯や非自営的失業者には、保険税の負担軽減を図り、生活困窮世帯には、分割納付等を認めている。

ウ・22年度に所得額による従来の6割、4割軽減から、7割、5割、2割軽減へと軽減措置の拡大を行った。24年度も同規模の軽減措置が図られる予定である。

健康福祉部長

② 希望する対象者を書類審査し、1人当たり4000円の助成券を交付する。周知については、5月の広報、ホームページに掲載する。

他に高齢者の見守りと市内の公共交通について質問した。

市民部長

①ア・平成23年5月における滞納世帯数は2229

増崎 俊宏
議員

今後の観光情報の発信は

観光ホームページの充実を図る

問 観光施策について

市長による平成24年度施政方針で、今後は観光産業にも力を入れていくとの姿勢が示され、大いに賛同するものである。そこで以下伺う。

- ① 地域経済活性化本部の位置付け、構成メンバーは。また、メンバーに青年世代や女性が入っているか。
- ② 今後、どのように観光情報を発信していくのか。
- ③ フェイスブックを活用し、市民や市外在住のあきる野出身者、企業等から観

光についての意見を広く求め、活用できないか。

環境経済部長

① 総合的な産業振興と地域経済強化を図ることを目的とし、市長を本部長に、民間事業者の代表総勢15名で構成されている。現在、青年世代や女性はいないが、今後必要があれば適切に対応したい。

企画政策部長

② 観光のホームページの充実を図り、その情報をフェイスブックに流し込み、

より多くの方に見てもらえるよう取り組んでいく。

環境経済部長

③ 商品開発など色々なアイデアが新たな商品につながる可能性を多分に秘めている。市が誇る地域資源を生かす展開ができると思うので、今後も推進していきたい。

他に買がん対策、災害に強いまちづくりについて質問した。



美しい秋川渓谷にかかる石舟橋

学校給食センターの建設時期は

基本計画を24年度に策定

岡野 悦史
議員

問 学校施設について

市長の施政方針の中で、学校施設整備についての説明があった。小・中学校の校舎と体育館の耐震化が完了した事を受け、更なる充実を図るため、平成26年度までに、特別教室のエアコン設置と、トイレの洋式化の目標を立てた。さらに老朽化した学校給食センター



秋川学校給食センター

の施設整備の手法や運営方法等の検討を進めるとあるが、以下について伺う。

- ① 学校給食センターの建設時期は。
- ② 運営方法はどのように考えているか。

教育部長

① 第2次行政改革推進プランに基づき、平成21・22年度において先進事例等を含めて調査検討してきた。23年度はそれを踏まえ、学校給食センター整備検討報告書を取りまとめ、老朽化

した3か所の給食センターを1か所に集約し炊飯機能の整備や、アレルギー食を調理できる機能等を備えた施設を整備することを目的とする方針を定めた。24年度には基本計画を策定し、その中で建設時期についても対応していきたい。

② 24年度当初予算において、学校給食センター整備事業委託料を計上し、運営方法、施設規模や配置等、より詳細な事項を専門的な見地から検討し、基本計画を策定していく。

町田 匡志
議員

地産地消核拠点の整備は
農業者が提案する直売所の素案をつくる

問 農業振興について

平成18年に策定した「あさる野市農業振興計画」は5年が経過し、23年に改訂版が発表された。本市を取り巻く農業の状況は、放射能問題なども加え、厳しさを増している。しかしながら本市における農業は重要な基幹産業であり、持続可能な農業の発展こそが、明日の元気なあさる野にとって極めて重要と考え、以下質問する。

① 地産地消型農業の課題の中で核拠点の整備の検討

と、その方向性はどのようなものか。

② 魅力ある農業経営の確立のためにどのような取り組みを進めるのか。

環境経済部長

① 地産地消の核拠点である秋川ファーマーズセンターは、開設から約20年が経過し、施設などが更新の時期を迎えている。市としては再整備へ向け、秋川農業協同組合との協議を加速させ、農業者がみずから提案する理想的な直売所の素案

② パイプハウス等の施設化や遊休農地の再生などに加え、農業の付加価値を高める「都市農業パワーアップ事業」として、平成24年度から、野菜や果実を漬物やジャム、ケーキなどに加工する工場を新たに建設する。



産業祭での野菜の宝船

これからの財政シミュレーションは

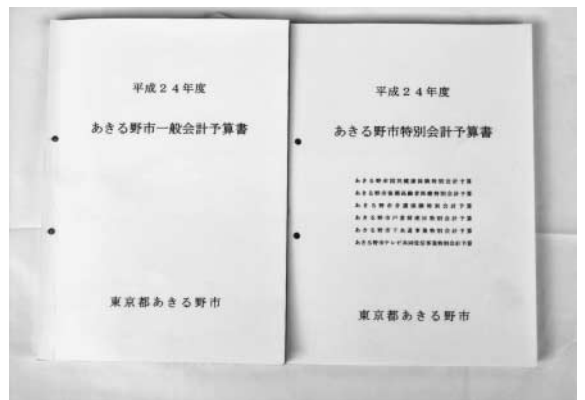
急激な好転は難しい

野村 正夫
議員

問 あさる野市の財政について

① 市税収入が合併直後と比べ減っている。合併すれば市民の負担は低く、サービスは高くなるはずだったが、逆になっている。これからの財政シミュレーションはできているのか。

② 本市では、東京26市の



24年度予算書

中で一般会計で見ると市民1人当たりの借金が33万円です。ワーストワンと新聞で報道された。他の会計と連結で借金総額はいくらか。また、その場合、市民1人当たりの借金額はいくらになるか。

③ 副市長は予算編成を将来を担う子ども達のために考えたと訴えたが、市民の生活水準が高まる中で収入が減り借金が増えることに心配はないか。

企画政策部長

① 市税の動向もしばらく横ばいであり、経済情勢が急激に上向きになるといいう予測もなかなか立てづらいところではある。ここ数年

で市の財政状況が急激によくなることは、なかなか難しいと思っている。

② 起債残高は608億円ほどであるが、市民1人当たりの金額は、人口約8万2000人で割ると、約74万円程度になる。

副市長

③ 今後でもできる限り借金を減らすような方向で進めながら、自主財源の確保に努め、更なる行政改革を進めることによって、バランスのよい予算編成や、できる限り将来に禍根を残さないという方向で、一生懸命努力している。

市議会 Photo News



一般質問 制限時間

各定例会の本会議で行われる一般質問は、議員が市の仕事全般について、市長などに報告や説明を求めたり、将来の方針等について質問することをいいます。

本市議会一般質問は、質問と答弁を合わせて60分以内を努力目標としています。

写真は、議場内にある一般質問の時間をカウントする電光掲示板です。

直接、議場で、議員の一般質問を傍聴してみませんか。

なお、傍聴にお越しいただけない方は、インターネットでも録画配信しておりますのでご覧ください。

録画配信 開催日別 公開一覧表

<http://www.city.akiruno.tokyo.jp/>

(時間は答弁も含まれています)

	質問者	質問事項	時間
3月13日 一般質問	清水 晃	平成24年度施政方針について	62分
	村木 英幸	福祉について 他	60分
	子籠 敏人	特別簡易型総合評価一般競争入札について 他	59分
	松原 敏雄	教育について	52分
	細谷 功	子どもを取り巻く環境と教育現場について 他	57分
	戸沢 弘征	市民に親しまれる本庁舎をつくることについて 他	43分
3月14日 一般質問	合川 哲夫	五日市郷土館について 他	61分
	田中 千代子	防災対策について 他	54分
	中村 雅一	都道整備事業と市の関係について 他	64分
	たばた あずみ	中学校での武道必修化について 他	40分
	堀江 武史	地域防災力の向上について 他	43分
	奥秋 利郎	小宮小学校統合について 他	53分
3月15日 一般質問	山根 トミ江	安心できる医療の充実について 他	60分
	増崎 俊宏	胃がん対策について 他	61分
	岡野 悦史	学校施設について	35分
	町田 匡志	農業振興について	40分
	野村 正夫	あきる野市の財政について	41分